

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		大野南地区まちづくり会議(第3回全体会)				
事務局 (担当課)		大野南まちづくりセンター 電話042-749-2217(直通)				
開催日時		令和元年8月2日(金) 午後2時~午後4時				
開催場所		南区合同庁舎 3階 講堂				
出席者	委員	23人(別紙のとおり)				
	その他	0人(別紙のとおり)				
	事務局	3人				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合、その理由						
会議次第		1 開 会 2 会長あいさつ 3 議 題 (1) 各団体からの地域事業やイベント等の情報交換について (2) 地域活性化事業交付金申請に対する意見について (3) 『地区まちづくり懇談会』から『まちづくりを考える懇談会 「地域の未来を語ろう with 市長」』への変更について (4) 大野南地区まちづくりを考える懇談会のテーマについて (5) その他				

## 経 過

主な内容は次のとおり。( 〃 は委員の発言、 〃 は事務局の発言 )

### 1 開 会

### 2 会長あいさつ

### 3 議 題

( 1 ) 各団体からの地域事業やイベント等の情報交換について

・ 学校法人相模女子大学より

夏季休業中、日本全国で学生が地域協働活動を行う予定。

8月15日に相模女子大学内のグラウンドで薪能が開催される。

8月9日にKid's サマースクールが小学生を対象に開催される。

生涯学習の一環である秋季さがみアカデミーが開催される。

8月5日から8月9日までワールドロボットサミットのトライアル協議会が開催される。

・ 相模原市立大野南公民館より

9月15日にクラシックコンサートが開催される。大野南公民館は共催をしており、今回からいくつかの商店より協賛をもらっている。

・ 大野南地区民生委員児童委員協議会より

福祉ラウンジの新聞が8月1日に発行された。

・ 相模大野南新町商店街振興組合より

8月4日に南新町納涼ふるさとまつりが南新町公園で開催される。商店街振興組合は共催している。

・ ボーノ会より

8月18日に盆踊り大会を初めて開催する。

・ 相模大野北口商店会より

8月24日と8月25日にもんじえ祭りが相模大野中央公園で開催される。屋台が30店舗ほど出店し、大物ミュージシャンも出演する。近隣にお住まいの方にはご迷惑をおかけするが、ご理解いただきたい。

・事務局より

8月9日に、SDGs シンポジウムが開催される。

(2) 地域活性化事業交付金申請に対する意見について

資料に基づき、NPO 法人 SoELa の松本氏と会長より説明を行った。

《主な意見・質疑等》

・社会問題啓発エンタテイメントステージ事業について

SoELa が本日持参した資料に記載されている昨年度の決算額と、地域活性化事業交付金で報告された昨年度の決算額が異なっている。

地域活性化事業交付金で報告された決算額は、領収書も提出していただいているので、間違いはないはずだが、もう一度 SoELa の岡部代表に確認する。

・地域防災イベント「イザ！カエルキャラバン！in 相模大野」について  
特になし

結果

両事業とも、原案のとおり承認された。

(3) 『地区まちづくり懇談会』から『まちづくりを考える懇談会

「地域の未来を語ろう with 市長」』への変更について

資料に基づき、事務局より説明を行った。

《主な意見・質疑等》

with 市長と記載されているが、市長は出席するのか。

基本的には出席する予定である。

(4) 大野南地区まちづくりを考える懇談会のテーマについて

資料に基づき、事務局より説明を行った。

《主な意見・質疑等》

まちづくり懇談会までに伊勢丹跡地の見通しは立つのか。

入札は終わったという話を聞いたが本当か。

担当は商業観光課になるが、確認したところ正式に入札が終わったという話は聞いていない。

入札が始まったというのは確かなのか。

正式に入札が始まったという話も聞いていない。

伊勢丹跡地の売却が決定したら、市には報告するように伊勢丹との間で決まっているのか。

売却が決まり、情報が公開できる段階になれば、市に報告することになっている。

相模大野駅周辺商店会連合会と市長が面会したとタウンニュースに記載されていたが、その辺りの話はなかったのか。

7月24日に面会したが、進展はないと聞いている。

伊勢丹跡地の買い手に対して言うべきことと、市に対して言うべきことを整理していくべきだ。

伊勢丹に関する正式な情報がなければ、議論ができない。

伊勢丹跡地は売却するという事は決まっているのか。

担当課からは、売却する方向と聞いている。

相模大野のまちづくりの将来像をしっかりと描いて、どこに売却されようが、それを提案していくべき。

去年のまちづくり懇談会で、副市長が3核3層構造を維持すると明言していたが、当時の副市長は替わってしまった。このため、現在もその考えは変わらないか、聞いてみたい。

伊勢丹跡地を市が買い取って、南区役所を移転して欲しい。

次回のまちづくり会議役員会と全体会で商業観光課の職員に来て欲しい。

商業観光課に依頼しておく。

#### 結果

伊勢丹閉店後のまちづくりを懇談会のテーマとする。

#### (5) その他

事務局より、別添資料一式は次回まちづくり会議でも使用する予定なので持参願いたい。

## 大野南地区まちづくり会議委員出欠席名簿

(出席者22名 欠席者3名)

番号	団体名	団体での役職	氏名	出欠席
1	大野南地区自治会連合会	会長	大木 恵	出席
2		副会長	古木 幸一	出席
3		副会長	渋谷 典彦	出席
4		副会長	瀬戸 量平	出席
5		前会長	有泉 健一	出席
6	大野南地区社会福祉協議会	会長	中島 千尋	出席
7	大野南地区民生委員児童委員協議会	会長	青木 智野	出席
8	女子大通り商工振興会	副会長	平 登志恵	出席
9	相模大野北口商店会	会長	斎藤 誠	出席
10	相模大野銀座商店街振興組合	副理事長	岩間みのる	出席
11	相模大野南新町商店街振興組合	理事長	岩井 大輔	出席
12	ポーノ会	役員	田中 修	出席
13	医療法人社団仁恵会黒河内病院	事務局長	後藤 一郎	出席
14	相模原市立鶴の台小学校PTA	会長	山本 欽章	欠席
15	相模原市立鹿島台小学校PTA	会長	中山 有理	出席
16	相模原市立新町中学校PTA	会長	池永千寿子	出席
17	学校法人相模女子大学	理事(事務局長)	速水 俊裕	出席
18	大野南地区老人クラブ連合会	副会長	畠山 秀美	出席
19	相模原市立大野南公民館	館長	中村 洋子	出席
20	相模原市立上鶴間公民館	館長	稲毛 易子	出席
21	大野南地域包括支援センター	管理者	田中 宣行	出席
22	上鶴間地域包括支援センター	管理者	今井 英子	出席
23	経験有識者		新村 玲子	出席
24	公募		宗形 貴介	出席
25	公募		吉田 涼夏	欠席

# 大野南地区まちづくり会議 第3回全体会 次第

日 時 令和元年8月2日(金)

午後2時から

場 所 南区合同庁舎 3階 講堂

## 1 開 会

## 2 会長あいさつ

## 3 議 題

(1) 各団体からの地域事業やイベント等の情報交換について

(2) 地域活性化事業交付金申請に対する意見について.....資料1

(3) 『地区まちづくり懇談会』から『まちづくりを考える懇談会

「地域の未来を語ろう with 市長」への変更について.....資料2

(4) 大野南地区まちづくりを考える懇談会のテーマについて.....別添資料

(5) その他

### 今後のまちづくり会議開催予定

第4回全体会： 9月10日(火)午後2時 南区合同庁舎 3階 講堂

第5回全体会： 10月 3日(木)午後2時 南区合同庁舎 3階 講堂

## 地域活性化事業交付金申請に対する意見について

31 - 2

事業名	地域防災イベント「イザ！カエルキャラバン！in 相模大野」 (4年目)													
団体名 構成員数	大野南地区連合自主防災隊	32名												
事業目的	<p>発災時の状況を踏まえ、地域の子どもたちがイザという時に自ら判断し、行動ができるようにするために、これまでなかなか防災訓練に参加しなかった次世代を担う子どもたちや若いファミリー等を対象に、震災時に必要な「技」や「智恵」を身に付けてもらう「楽しみながら防災を学ぶ」をテーマにしたイベントを開催します。</p>													
事業内容	<p>阪神・淡路大震災の被災者の教訓を基に、ゲーム感覚で楽しみながら「消火」、「救出」、「救護」などを学べる防災体験プログラムと、おもちゃの物々交換プログラム「かえっこバザール」を組み合わせて開催する。</p> <p>防災体験プログラムの体験を促す仕掛けとしておもちゃの交換会「かえっこバザール」を導入し、防災体験プログラムを体験すると、おもちゃと交換ができるカエルポイントが貰えるため、子どもたちは積極的に防災を学ぶ。</p>													
事業費 交付金申請額	<p>事業費：510,000円(交付金申請額：200,000円) 主な経費内訳</p> <table> <tr> <td>委託料</td> <td>250,000円(NPO法人プラス・アーツ)</td> </tr> <tr> <td>保険料</td> <td>10,000円</td> </tr> <tr> <td>スタッフ昼食代</td> <td>40,000円</td> </tr> <tr> <td>スタッフお茶代</td> <td>10,000円</td> </tr> <tr> <td>会場費</td> <td>100,000円</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>100,000円</td> </tr> </table>		委託料	250,000円(NPO法人プラス・アーツ)	保険料	10,000円	スタッフ昼食代	40,000円	スタッフお茶代	10,000円	会場費	100,000円	事務費	100,000円
委託料	250,000円(NPO法人プラス・アーツ)													
保険料	10,000円													
スタッフ昼食代	40,000円													
スタッフお茶代	10,000円													
会場費	100,000円													
事務費	100,000円													
過年度事業実施 事業費 交付金交付状況 事業効果	裏面のとおり													
特記事項														

平成30年度大野南地区地域活性化事業交付金 交付決定事業の概要と評価

申請事業名	地域防災イベント「イザ！カエルキャラバン！in相模大野」(3年目)
申請団体	大野南地区連合自主防災隊
事業目的	発災時の状況を踏まえ、地域の子どもたちにもいざという時に自ら判断し、行動ができるようにするために、これまでなかなか防災訓練に参加しなかった次世代を担う子どもたちや若いファミリー等を対象に、震災時に必要な知恵や技を身につけてもらう「楽しみながら防災を学ぶ」をテーマにしたイベントを開催する。
交付決定日	平成30年7月26日
交付決定額 (事業費)	600,000円(決算772,074円)
団体実績報告	<p><b>事業実績</b></p> <p>平成30年11月10日(土) ボーノ相模大野(ボーノ広場・ボーノウォーク)にて地域防災イベント「イザ!カエルキャラバン! in 相模大野」を開催した。過去最多の13の訓練を体験することができ、約700名の親子連れや子ども達の参加で大盛況だった。3回目ということもあり、今年の開催を楽しみにしてくれているリピーターの子供の参加が多く、イベントも知名度があがってきていることを感じた。親子で体験する事により、防災について興味を持ち、防災意識の向上につながっている。家族で防災について話し合うきっかけ作りになるイベントになった。</p> <p><b>自己評価</b></p> <p>今年で3回目ということもあり、開催を楽しみにしてくれているリピーターの子供の参加が多く見られ、イベントも知名度があがってきていることを感じた。スタッフも回を重ねる事により指導が上手くなり、アイデアを出しながらより良いものにしていこうという意識が感じられた。参加者にも運営スタッフ側にも防災について気軽に体験できる地区のイベントとして定着してきたと感じた。</p>
市評価	今まで、防災訓練に参加することが少なかった子供達や、その親が多く参加し、楽しみながら防災について学ぶことができた。今後は自立に向けて財源の確保が望まれる。
備考	



地域活性化事業交付金申請に対する意見について

31 - 3

事業名	社会問題啓発エンタテインメントステージ事業（2年目）											
団体名 構成員数	NPO 法人 SoELa	20名										
事業目的	<p>南区の課題解決に向けた啓発活動を毎年実施し、地域の課題を含め社会問題を自分の事として捉えてもらい、行動する人々で溢れる地域に寄与していく。地域の課題を多くの方々に発信し、地域活動に無関心な方々が課題を知り、行動に移すきっかけ作りを行います。</p>											
事業内容	<p>ステーションスクエアに特設ステージを組み、Flare を中心に、神奈川県警、地域の高校、子供会連合会などと連携し、歌とダンス、寸劇などでステージを展開します（2部構成を想定）。</p> <p>大学生や高校生向けに SDG s 勉強会（講座）を開催し、その成果をステージ発表することも計画している。</p> <p>また今回は Flare の新メンバーを南区から公募する予定。さらにステージの周りにブースを設け、地域の情報を発信していくことも検討している。</p>											
事業費 交付金申請額	<p>事業費：180,000円（交付金申請額：100,000円）</p> <p>主な経費内訳</p> <table border="0" data-bbox="523 1496 1011 1693"> <tr> <td>人件費</td> <td>45,000円</td> </tr> <tr> <td>機材会場賃借費</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td>印刷費</td> <td>15,000円</td> </tr> <tr> <td>雑費</td> <td>40,000円</td> </tr> <tr> <td>委託費</td> <td>30,000円</td> </tr> </table>		人件費	45,000円	機材会場賃借費	50,000円	印刷費	15,000円	雑費	40,000円	委託費	30,000円
人件費	45,000円											
機材会場賃借費	50,000円											
印刷費	15,000円											
雑費	40,000円											
委託費	30,000円											
過年度事業実施 事業費 交付金交付状況 事業効果	裏面のとおり											
特記事項												

平成30年度大野南地区地域活性化事業交付金 交付決定事業の概要と評価

申請事業名	社会問題啓発エンタテインメントステージ事業（1年目）
申請団体	NPO法人 SoELa
事業目的	心揺さぶるエンタテインメントの手法を用いることで地域の課題を含め社会問題を自分事として捉えてもらい、行動する人々で溢れる地域になるよう啓発活動を行います。地域の課題を多くの方々に発信し、地域活動に無関心な方々が課題を知り、行動に移すきっかけ作りを行う。
交付決定日	平成30年10月4日
交付決定額 （事業費）	100,000円（決算102,903円）
団体実績報告	<p><b>事業実績</b></p> <p>歌とダンスで社会問題を啓発する「Flare SHOW!」を1月22日相模大野ステーションスクエアに特設ステージを設置して実施した。</p> <p><b>自己評価</b></p> <p>今回は、多くの方々をゲストに招き、歌とダンスの間にプレゼンテーションや寸劇を挟み込むスタイルで実施した。準備時間が短い中、事前のリハーサルや練習に時間をかけ、若者からのメッセージを届けられたのではないかと思う。今回は地元の中学生、高校生とは連携できたが、自治会、商店会、PTAなど、まちづくり会議との連携が今後の課題である。</p>
市 評 価	<p>エンタテインメントの手法を用いることで、これまで地域課題に関心がない方々に、関心を持ってもらえる機会となった。</p> <p>今後はイベントが定着し、他団体との連携を強化していくことが望まれる。</p>
備 考	

## 令和元年度 地区まちづくり懇談会実施要領

## 1 目的

まちづくり会議の委員と市が意見交換や情報共有しながら、地域の特性や地域資源を生かしたまちづくりを協働して考える場を設け、住みよいまちづくりを推進する。

## 2 本年度の開催方針等

新市長就任に伴い、市長とまちづくり会議委員との「対話」により、地区のまちづくりについて考える懇談会とする。また、まちづくりを考える懇談会「地域の未来を語ろう with 市長」と名称を変更して実施する。

## 3 開催単位

各地区年1回1会場とする。

## 4 実施方法

各地区まちづくり会議と市の協働により開催する。

## 5 開催日等

開催日及び会場は、まちづくり会議と市との調整により決定する。

開催時間は午後7時からとする。

## 6 進行等

懇談会の進行等はまちづくり会議の代表者等が行い、開催時間は概ね1時間30分とする。

## 7 出席者

(1) 地区の出席者は、まちづくり会議の委員とする。なお、まちづくり会議が特に必要とする場合には、委員以外の出席を認めることができるものとする。

(2) 市側の出席者は、市長、担当副市長、区長、及びテーマに関連する局長とする。ただし、区長は副区長が、局長は部長が代わることができる。また、まちづくり会議事務局の職員、テーマに関連する部署の課長及び職員も出席できるものとする。

市長の公務日程等で対応できない場合がある。

## 8 懇談の内容

地区のまちづくりに関して、地区でテーマを設定する(原則一つ)。

【テーマの考え方】

ア 現在、地区で重点的に取り組んでいるもの。

イ 今後、地区で取り組んでいく必要があるもの。

## 9 傍聴

当日受付とし、地区以外の住民も傍聴可能する。ただし、会場の都合により、座席数には限りがあるため、希望者が多い場合には抽選により、傍聴者を決定する場合がある。

## 10 周知方法

市ホームページ及び地域情報紙にて周知を行う。

# 令和元年度 まちづくりを考える懇談会「地域の未来を語ろう with 市長」 の実施要領

## 1 令和元年度地区まちづくり懇談会の構成【前年度】

- (1) 開会（まちづくり会議委員）
- (2) 出席者の紹介（まちづくり会議委員・市側出席者）
- (3) まちづくり会議代表あいさつ
- (4) 市長あいさつ【副市長あいさつ及び市政概要説明】
- (5) 懇談

議論の視点「地域でできること」、「市がやるべきこと」、「協働でできること」とは何かとい  
う視点から建設的な懇談の場とする。

- ・テーマの説明をまちづくり会議から説明（パワーポイント、資料等）
- ・テーマに関連する市や区の取組等について説明（関連する区長、局長）
- ・テーマについての懇談
- ・まちづくり会議代表あいさつ

- (6) 市長あいさつ(感想)【副市長講評】
- (7) 閉会

## 2 変更の概要

副市長あいさつ及び市政概要説明の構成を次のとおり変更する。

	現 行	変更後	資料等作成課
あいさつ	副市長	市長 1	市民協働推進課
市政概要（予算事始）	区 長	説明なし 2	
市政運営方針（市長施政方針から）			
市をめぐる主な動き（2点程度）			
各区役所運営方針 （これまでの取組み結果や今後の方針 の主なもの）	区 長	説明なし	
前年度地区まちづくり懇談会における 検討事項等の進捗状況	原則 資料配布のみ	原則 資料配布のみ	各区役所 まちづくりセンター
前年度地区まちづくり懇談会において検討事項等となったものについては、まちづくりセンター（地域政策担当職員）が担当課等に進捗状況を調査し続け、適宜、地区まちづくり会議に報告しておくものとする。			

1 市長あいさつは、市政運営を含めて行う。

2 市政概要と予算事始は、当日、資料として配布する。

# 相模大野駅周辺の沿革

別添

年月日	事項	備考
S29.11.20	市政施行。相模原市となる。	人口・世帯数：80,374人・16,736世帯（市） 【S29.10】 9,808人・1,934世帯（大野南）
S38.12.8	市内初の大規模小売店舗として『オダキューO相模大野店』開店。	
S41.9.1	市内初の横断歩道橋が、県道町田厚木線の相模女子大入り口に設置。	
S47.2.21	相模大野駅周辺土地区画整理事業開始。	市の南の玄関口にふさわしいまちを目指す。
	県高相合同庁舎完成。	
S56.4.1	米陸軍医療センター全面返還。	( 1 ) 地元利用分・国利用分・留保地の有償三分割方式による処分を決定。
S58	21世紀初頭を目標とし、「60万市民のための商業地づくり」をメインテーマとした『相模原市商業振興ビジョン』の中で、相模大野・相模原西門・橋本の3地区を市の中心商業地と位置づける。	人口・世帯数：467,311人・150,943世帯（市） 【S58.10】 47,680人・17,820世帯（大野南）
S58.8.29	南合同庁舎完成。	
S59.3.30	相模大野駅南口駅前広場利用開始。	
S60.4.1	県立相模大野高等学校開校。	
S63	国の「ふるさとの顔づくりモデル土地区画整理事業」に指定。	
H1.12.1	相模大野中央公園開園。	
H2.1.8	グリーンホール相模大野内に『相模原市文化会館』開館。	ネーミングライツ導入により、H25.4より愛称が「相模女子大学グリーンホール」となる。
H2.1.9	グリーンホール相模大野内に『相模大野図書館』開館。	
H2	市道相模大野駅前通り線（コリドー街）完成。	
H2.9.25	市内初の百貨店として『伊勢丹相模原店』開店。	人口・世帯数：531,562人・187,351世帯（市） 【H2.10】 53,992人・21,503世帯（大野南）
H4	『相模大野岡田屋モアーズ』開店。	
H5.4	『伊勢丹相模原店A館・B館』開館。	
H6.4.16	相模大野駅西側の歩行者用跨線橋サンデッキ相模大野完成。全面供用開始。	
H8.11.1	相模大野駅ビル『小田急相模大野ステーションスクエア』完成。	
H12.2.25	相模大野駅周辺土地区画整理事業完了。	
H21.12.6	相模大野駅西側地区第一種市街地再開発事業着工。	
H22.4.1	政令指定都市に移行。区政施行。	人口・世帯数：712,604人・299,634世帯（市） 【H22.4】 71,824人・33,599世帯（大野南）
H25.3.15	相模大野駅西側地区市街地再開発ビル『bono相模大野』オープン。	
	市民・大学交流センター（ユニコムプラザ相模原）、相模大野パスポートセンター開設。	
H28.2.1	『伊勢丹相模原店A館・B館』閉館。	
H30.9	「次期総合計画・都市計画マスタープラン 大野南地区まちづくり会議報告書」を作成。	【参考1】
H30.9.26	『伊勢丹相模原店』閉店発表。	人口・世帯数：723,012人・322,967世帯（市） 【H30.10】 78,478人・37,664世帯（大野南）
H30.11.13	大野南地区まちづくり懇談会で「市の南の玄関口としての今後のあり方について」とのテーマで懇談を行う。	【参考2】・【参考3】 【参考3】は、平成30年度第11回全体会（H30.12.18開催）資料の抜粋です。
H31.3.22	大野南地区まちづくり会議が株式会社三越伊勢丹ホールディングスに要望書を提出。	【参考4】

( 1 )  
 地元利用分...相模大野中央公園、グリーンホール相模大野、相模大野駅北口自転車駐車場、相模大野立体駐車場、県立相模大野高等学校  
 国利用分...ロビーシティ相模大野五番街、伊勢丹相模原店  
 留保地...外務省研修所、国家公務員宿舎

【参考文献】  
 ・相模原市総務部総務課市史編さん室「相模原市史 現代図録編」（平成16年11月20日発行）  
 ・相模原市「相模原市史 現代通史編」（平成23年3月31日発行）  
 ・月報統計さがみはら（各月の国勢調査に基づく人口と世帯数等）  
 URL: <http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/toukei/1010325/1010328/index.html>

次期総合計画・都市計画マスタープラン  
大野南地区まちづくり会議報告書

平成30年9月

大野南地区まちづくり会議

## 目 次

(課題と対応方策)

1	【重点】 都市計画・都市整備	P 1
2	道路・交通	P 2
3	住環境・生活環境	P 3
4	自然・環境	P 4
5	産業・観光・商店街	P 5
6	安全・安心	P 6
7	健康・医療・福祉	P 7
8	教育・子育て	P 8
9	生涯学習・文化・スポーツ	P 9
10	【重点】 地域コミュニティ	P 10
	会議経過	P 11



## 1 【重点】都市計画・都市整備

### 現状と課題

大野南地区は、国道16号や町田厚木線（県道51号）、小田急線相模大野駅を有する交通の要衝として、商業施設や医療施設、行政施設などが集まっています。

今後より一層、南区の中心としての役割が期待されている中で、区の役割を明確にし、区に政策や予算の権限を移譲するなど、地域に即した行政運営が求められています。

### 対応方策

- ☆区の役割を明確化し、区に政策や予算の権限を移譲するなど、その現状や特性を踏まえて地域に即したまちづくりを推進する（行政）
- ☆区ごとに危機管理部門の専任組織を設置するなど、区への分権を推進し、本庁機能のコンパクト化を図る（行政）



## 2 道路・交通

### 現状と課題

大野南地区では、広域的な道路網である町田南大野線などの都市計画道路の整備が進んでおらず、地域住民や大野南地区を利用する方にとって、快適な交通網の形成が必要となっています。また、生活道路の幅員が狭い箇所や、歩道が整備されていない箇所が多く、交通渋滞や安全対策が課題となっています。

人が多く集まる相模大野駅周辺では、歩道の狭い箇所や歩きづらい歩行空間があり、歩行者の目線に立った対策が求められています。

また、徒歩や自転車の利用による移動が多い地域であることから、歩行者と自転車双方の安全対策も課題となっています。

### 対応方策

- ・都市計画道路町田南大野線（市道南大野）などの広域道路網の早期整備を行う（行政）
- ・交通渋滞や安全対策から狭隘な生活道路などの拡幅整備、安全対策等を進める（行政）
  - ・市道淵野辺中和田（旧国道16号）
  - ・中和田交差点から鶴金橋交差点の間の道路
  - ・県道51号線（都市計画道路町田厚木線）の伊勢丹前の道路
  - ・谷口小学校入口交差点の南側道路（ウェルパーク前）に信号機設置（関係機関と調整）
- ・人の通りが多い相模大野駅前周辺では、誰もが安心して歩くことができるような歩行空間を確保する（行政）
  - ・雨天時や積雪時における相模大野駅ペDESTリアンデッキの雨水や雪解け水処理の改善
  - ・コリドー街のレンガ敷きを歩きやすい舗装に改修
  - ・街路灯やガードレールの配置の工夫などによる歩道の有効幅員の確保
- ・歩行者と自転車の動線を分離して、お互いの安全性の向上を図る（行政）
- ・関係機関と連携し、自転車マナー向上の取組を進める（市民・行政・その他）

### 3 住環境・生活環境

#### 現状と課題

大野南地区では、市民が集まる施設や市民活動の場が少なく、家族でくつろげる場や子どもの遊び場が少ないことも課題となっており、市民がのびのびと活動し、子育てがしやすい環境づくりが求められています。

また、近年、空き家が増えてきており、これらの管理が不十分であることによる防災・防犯面の不安があります。

相模原南警察署が駅や市の施設から離れた場所にあることや、施設の老朽化による安全・安心面での不安があることから、行政機関の集約している相模大野駅周辺への早期移転が求められています。

#### 対応方策

- ・市民活動が活発となるように、既存の施設を活用して、会議室の利用の仕方を工夫するなど、市民が利用しやすい仕組みをつくる（行政）
- ・校庭の開放やふれあい広場の利用制限の緩和など、子どもたちが遊べる環境を広げる仕組みづくりをする（行政）
- ・空き家対策として、行政窓口の一本化や空き家バンクなどの流通促進システムを検討する（行政）
- ・空き家の利活用を推進するため、関係機関と連携し、固定資産税の優遇や学生によるリノベーションの取組を推進する（市民・行政・その他）
- ・関係機関と連携し、相模原南警察署の相模大野駅周辺への早期移転を推進する（市民・行政・その他）

## 4 自然・環境

### 現状と課題

相模大野中央公園は、街のにぎわいづくりの核としての役割が求められている一方で、冬場に子どもが遊ぶ砂場が暗いなどの防犯面や、遊具が撤去されている箇所が見受けられるなどの管理面での課題があります。

また、大野南地区では、民間開発によって設置された小規模の公園が多く存在しており、整備年数の古い公園の中には、利用者のニーズと合っていないものもあり、柔軟な対策が求められています。

さらに、境川や深堀川を大雨時の危険箇所として捉えるだけではなく、市民が水に触れながら憩うことができる場として整備するなど、自然環境を有効に活用する方策を検討する必要があります。

### 対応方策

- ・相模大野中央公園の砂場付近の樹木を広葉樹に替えて、冬場に日陰のない砂場で子どもが快適に遊べるような工夫や、高齢者の集いの場として健康遊具を設置するなど、利用者の目線に立った環境づくりを推進する（行政）
- ・相模大野中央公園を大勢の人の集いの場とするため、駅から公園までの人の流れる仕組みを検討する（市民・行政）
- ・簡易テントや敷物などのピクニック用品の貸し出しを行うなど、相模大野中央公園をさらに活用してもらおう取組を進める（行政）
- ・相模大野中央公園の既存ストックを生かして、期間を限定して噴水を活用するなど、人を集め、にぎわいをつくる取組を進める（行政）
- ・既存の小規模の公園管理について、利用者のニーズが反映できるように柔軟な対策を行う（行政）
- ・境川や深堀川などの自然環境を活用し、親水公園などの市民が「水に親しむ」場を整備する（行政）

## 5 産業・観光・商店街

### 現状と課題

大野南地区では、近年の相模大野駅前の再開発により大型商業施設ができ、利便性が良くなりましたが、一方で全国規模のチェーン店等が増えたことにより、地元商店街のにぎわいの低下が課題となっています。

また、コリドー街では雨天時に傘を差さずに歩けるスペースが限られていて、歩行者の目線に立った再整備が求められています。

今後は、少子高齢化などの社会情勢の変化を見据えて、時代のニーズに合った商店街へと「リニューアル」することが求められています。

### 対応方策

- ・商業サインを統一することで、一体感のある街並みをつくる（市民・行政）
- ・商店の連携による宅配システムを検討する（市民）
- ・コリドー街の路面を歩きやすい舗装に整備し、通路に屋根を設置することで、雨天時でも安心して誰もが歩ける空間を確保する。（市民・行政）
- ・コリドー街のベンチを使いやすいものに替える（行政）
- ・コリドー街に公衆トイレを整備する（行政）
- ・大型商業施設と地域とが意見交換できる場を設けて、連携強化を図る（市民・行政）
- ・人が多く集まる駅前に電光掲示板を設置し、地域の情報を発信する（行政）

## 6 安全・安心

### 現状と課題

近年の自然災害を踏まえると、災害時の自助共助の取組が重要となってきており、地域に根ざした小さな単位での防災対策が求められます。

そのような中で、大野南地区では、分譲マンションの増加により、近所付き合いの機会が減るなど、地域コミュニティが希薄化しているため、地域コミュニティを強化して、災害時の共助の体制を整えるなどの防災対策が求められています。

また、駅前での悪質な勧誘などによる治安の悪化や、犯罪などへの不安が高まっており、防犯対策が課題となっています。

### 対応方策

#### (防災)

- ・災害の危険がある箇所が容易に分かるように地域単位のハザードマップを作成し、広く市民に周知する（行政）
- ・災害時に自助共助が円滑にできるように、日頃から自治会での情報を共有し、商店街単位での消防訓練を行うなどのきめ細かな対策を行う（市民）
- ・関係機関と連携して、豪雨時に対応できるように境川の治水対策を実施する（行政）
- ・災害時にすぐに避難することが難しい高齢者等が、地域の中で効果的な支援を受けられるように、個人情報取り扱いを含めて体制づくりを推進する（市民・行政）
- ・災害発生時に効果的な支援が行えるよう、日頃から自治会と民生委員などが、それぞれの役割分担等について話し合い整理する機会を設ける（行政・市民）

#### (安全・安心)

- ・防犯パトロールなど地域の防犯活動を充実させる（市民）
- ・境川周辺に防犯灯を設置して防犯の取組を推進する（行政）

## 7 健康・医療・福祉

### 現状と課題

大野南地区では、今後、高齢化の進行が見込まれており、外出の機会が少なく地区の中で孤独感を抱える高齢者等を支援していくことが求められています。

特に、境川に隣接する上鶴間本町付近では、交通手段が限られている場所や高低差のある場所が多く、移動の困難な高齢者等の支援体制を整える必要があります。

### 対応方策

- ・「いきいきサロン」など高齢者等が参加できる活動の場を広げる（市民）
- ・「いきいきサロン」など高齢者等が参加できる活動の場への支援を充実させる（行政）
- ・公園などを活用して、高齢者等がスポーツをするなどの交流できる場づくりを推進する（市民・行政）
- ・福祉施策の観点から、移動の困難な高齢者等の交通手段を検討する（行政）
- ・タクシー利用助成制度を利用者の実情に合わせて他の助成に転用できるようにするなど、移動の困難な高齢者等のための制度を柔軟に運用できるようにする（行政）



## 8 教育・子育て

### 現状と課題

社会情勢等の変化により、近年、共働き世帯の増加や、家族構成が変化している状況を踏まえ、子育てと仕事が両立できる環境づくりが求められています。

今後も年少人口が増える見込みである大野南地区では、特に駅周辺でマンションの建設が増え、現時点でも小中学校の教室が不足しており、子育てや教育環境の悪化が課題となっており、子どもの遊び場や勉強の場などの居場所づくりが求められています。

また、子ども間の体力や知力の格差が広がってきている中で、生まれ育った環境に左右されることなく、子どもたちが等しく学習の機会を得て、自主性を高めていく取組が必要となっています。

さらに、子どもを預ける保育園などでは保育士の数も不足している状況にあり、人材確保に向けた取組が求められています。

### 対応方策

- ・子ども一人ひとりの自主性を高めるために、家庭や地域の教育力を向上する取組を推進する（行政・市民）
- ・子どもの遊び場や勉強の場などの居場所を確保するため、管理体制も踏まえて、学校における平日の放課後の校庭開放や空き教室の有効活用を検討する（行政・市民）
- ・放課後の空き教室などを活用した無料塾開催などの学習支援を実施する（行政）
- ・地域のコミュニティと繋がる「子ども食堂」の取組を支援する（行政・市民）
- ・子ども向けサロンの取組の頻度や場所を拡充する（市民・行政）
- ・夏休みの学校プールの開放日数を増やすとともに、水泳指導を充実させる。（行政）
- ・他都市の制度も参考にしながら、保育士への支援制度を充実させる（行政）



## 9 生涯学習・文化・スポーツ

### 現状と課題

大野南地区では、相模大野図書館やユニコムプラザさがみほらなどの市の施設がありますが、民間による委託管理になっており、地域の声や利用者の声が十分に反映される施設運営が求められています。

また、本地区では、多くの地域のイベントがありますが、地域の隅々まで情報が伝わっていないことが課題となっています。

さらに、子どものみならず大人の体力格差も広がってきている中で、生涯を通じてスポーツを楽しむ環境の整備が必要となっています。

### 対応方策

- ・民間による委託管理となっている市の施設の運営に対して、市民が管理者に意見をする機会を設けて、よりよい施設運営が実現できるようにする仕組みをつくるなど、委託管理のあり方を工夫する（市民・行政）
- ・イベント情報が地域の隅々まで伝わるように情報発信の仕方を工夫する（市民・行政）
- ・生涯スポーツを推進するため、公民館等に体育施設を併設する（行政）

## 【重点】 10 地域コミュニティ

### 現状と課題

大野南地区では、価値観の多様化などの市民の考え方の変化や、分譲マンションの増加による自治会加入率の低下などにより、近所付き合いの機会が減少し、地域コミュニティの希薄化が問題となっています。

また、地域の身近な相談相手である民生委員のなり手が少ないなどの課題があります。

さらに、近年では、外国人市民が増えてきていますが、地域との交流が少なく、生活習慣の違いなどを相互に理解した上で、地域の中で共存していくことが必要となっています。

### 対応方策

- ☆集合住宅における集会所等の固定資産税の減免措置を、自治会の集会所に限定するなど、集合住宅への自治会設立または加入を促進する（行政）
- ☆国籍を問わず子どもから高齢者まで3世代が交流できる場づくりを推進するとともに、中高年の引きこもり者対策の検討や、高齢者等の閉じこもりの対策としてデイサービスの送迎の隙間時間を活用するなど民間事業者との連携による交通手段の検討を行う（市民・行政・その他）
- ・自治会費の支払い費用を確定申告時に所得から控除するなど、税制上の優遇措置を関係機関へ要望するなど、自治会加入によるメリットを充実する（行政）
- ・転入者や同世代などの同じような環境におかれた方々が、小さな単位で繋がるような新たなコミュニティづくりを推進する（市民）
- ・自治会への加入促進や民生委員のなり手不足解消について、行政サイドからも積極的に支援する（行政）

○会議経過

日 程	会 議 内 容	委員出席数
平成30年 6月19日	第1回 ・地域の課題（良くなった・悪くなった点）の抽出	21名
7月10日	第2回 ・課題と対応方策検討①	22名
8月 7日	第3回 ・課題と対応方策検討②	20名
8月28日	第4回 ・報告書のとりまとめ① ・重点項目の検討	16名
9月21日	第5回 ・報告書のとりまとめ②	21名



## 大野南地区まちづくり懇談会テーマ 1

テーマの選定について、どちらか選んでください。

地区の課題で、区全域や隣接する地区等に及ぶものなど

地区固有のもの、その他、地区として特に取り組むべきとして地区が選定したものなど

## テーマの概要・内容

概 要	市の南の玄関口としての今後のあり方について
内 容	<p>中心市街地として位置づけられた相模大野駅周辺は、「風格のあるまちづくり」をキーワードに、市の南の玄関口として商業施設や高層住宅、文教施設などの多様な機能を集積し、一体的なまちづくりを進めてきた。その結果、大野南地区は、今後策定される次期総合計画及び都市計画マスタープランにおいて市が目指すコンパクトシティの先駆けとして充実発展してきた。</p> <p>この度、その中心市街地を形成する核店舗である伊勢丹相模原店が閉店するとの報道がなされ、市の南の玄関口としての今後のあり方について、市は、どのように考え、対応していくのか、地域との連携、また地域に期待することも含めて懇談したい。</p>

## 上記テーマに関する課題事項と内容

課題事項 1	中心市街地としての都市機能を維持するための地域と行政の取組について
内 容	<p>伊勢丹相模原店は、相模大野駅と相模女子大学グリーンホールや相模大野中央公園といった市民が集う公共施設との間に位置し、周囲の活気ある地元商店会とともに本市の南の玄関口を代表する一大商業地を形成する核と言える存在である。</p> <p>今後も、この中心市街地としての都市機能を維持していくためには、地域の意見を十分に聴取したうえで、相模大野駅から相模女子大グリーンホール及び相模大野中央公園までの動線を確保することや、まちのイメージを損なわない、新たな商業施設等が必要と考える。</p> <p>この課題解決のため、地域と行政が一体となり、早急に今後のあり方について検討し、具体策を含めた市の考えを伺いたい。</p>
担当部署	<p>商業観光課（参考送付：環境経済総務室）</p> <p>都市計画課、都市整備課（参考送付：都市建設総務室）</p>

## 平成 30 年大野南地区まちづくり懇談会 主な意見・回答【未定稿】

## 1 市の南の玄関口としての今後のあり方について

## 課題事項 1 中心市街地としての都市機能を維持するための地域と行政の取組について

## [ 質問内容 ]

- ・伊勢丹相模原店が閉店するとの報道がなされたが、今後のあり方について、市の考えを伺いたい。

## [ 回 答 ]

- ・伊勢丹が保有している歩行者動線が現行どおり確保され、これまで取り組んできた三核構造のまちづくりによるまちの広がりや回遊性が損なわれないよう、伊勢丹に対し強く要請しているところである。
- ・伊勢丹相模原店閉店後は、一定規模以上の商業施設の出店が欠かせないものとして協議をしている。また新たな商業施設においても、地域コミュニティの機能を継続してもらえよう、協議していく。

## [ 質問内容 ]

- ・具体的に市は伊勢丹のどこの部署に申し入れをしているのか。また協議をしていて、どのような感触か。

## [ 回 答 ]

- ・本社の構造改革推進部やCRE戦略部が窓口として対応してくれている。
- ・はっきりとした感触は得られていないが、これまで関わってきた経緯は大事にしていきたいと話してくれている。閉店については、すでに正式な発表をしたため、これを撤回するということはまずないと感じている。

## [ 質問内容 ]

- ・伊勢丹本社との話し合いの際に、住民の代表者も参加できないか。

## [ 回 答 ]

- ・伊勢丹に提案してみる。

## [ 質問内容 ]

- ・今後のことが不安なため、方向性だけでも教えて欲しい。
- ・伊勢丹相模原店の跡地をねらっている企業もあると思うが、こういう施設ならいいという決まりはあるのか。

[ 回 答 ]

- ・伊勢丹相模原店の土地は、伊勢丹が所有しているものなので、市の意向を伝えていきたい。3核構造を維持するため、今のまちにふさわしいものを誘致して欲しいと考えている。

[ 質問内容 ]

- ・伊勢丹相模原店の閉店後に建て直しがあれば、敷地内の通路が4～5年通れなくなると思われるが、対応はしているのか。

[ 回 答 ]

- ・通路の問題は懸念しており、伊勢丹と話し合いをしている。土地の売却が決まれば、通路のことをどのように引き継いでもらうか検討している。

[ 質問内容 ]

- ・閉店は来年の9月と聞いているが、その後の対応はいつごろ公表できるか伊勢丹から教えてもらえないのか。

[ 回 答 ]

- ・伊勢丹相模原店の閉店後に売却するということも決められておらず、いつ公表できるかということも教えてくれない。

[ 質問内容 ]

- ・平成2年に市と伊勢丹が通路について協定を結んでいると聞いたが、文書で協定を結んでいるのか。
- ・伊勢丹相模原店が閉店すると、3核構造が崩れてしまうのでは。2核構造にするのならまちづくりのあり方を考え直す必要があるのでは。

[ 回 答 ]

- ・文書では、通路の協定を所有者が代わっても引き継ぐという事項はなかった。現在、引き継いでもらうよう交渉しているところである。
- ・まだ今後のことは決まっていないため、まちづくりの見直しについては、今後のことが決まってからという選択肢もある。

[ 質問内容 ]

- ・伊勢丹に残ってくれるよう、働きかけて欲しい。

[ 回 答 ]

- ・現在の厳しい経済状況では、百貨店という形態は厳しいかもしれない。伊勢丹相模原店閉店後の新たな買い手が、商業の核となり続けるよう、働きかけていく。
- ・地元の声として、市を介さずに直接伊勢丹に伝えてもいいのでは。



平成31年3月22日

参考 4

株式会社三越伊勢丹ホールディングス  
代表取締役社長執行役員 杉江 俊彦 様

大野南地区まちづくり会議  
会長 大木 恵



伊勢丹相模原店の営業終了等に伴う対応について（要望）

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃から、地域のにぎわい創出につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、小田急相模大野駅周辺は、相模原市の中心市街地として位置づけられ、「風格のあるまちづくり」をキーワードに、市の南の玄関口として商業施設のほか、高層住宅や文教施設などの多様な機能を集積し、まちの広がりと人の回遊性を確保するため、伊勢丹相模原店、グリーンホール相模大野と小田急相模大野の駅ビル、西側地区を3つの核として、それぞれの特色を持たせた「三核構造」の一体的なまちづくりを進めてきました。我々、大野南地区まちづくり会議を構成する各地域活動団体も様々な形で、その推進のために協力して参りました。

伊勢丹相模原店は、この「風格のあるまちづくり」における商業の核として、平成2年9月の開店以降、長年にわたり地域経済をけん引し、住民に愛されてきました。また、店舗北側に位置する公共施設の利用にあたっては、貴店のコンコースやペDESTリアンデッキを利用させていただくなど、市民生活になくてはならない重要な役割を担っていただいております。

このような中、過日、株式会社三越伊勢丹から本年9月末に営業終了との発表がなされましたことは、地域にとって非常に大きな驚きと悲しみであるとともに、今後の店舗の取り扱いについては未定と伺っていることから、相模大野のまちづくりの行方についても大変憂慮しております。

つきましては、今後も相模大野のまちが発展し続けられるよう、次のとおり特段の措置が講じられますよう、よろしくお願い申し上げます。

#### 記

1. 現在ある店内のコンコースを経由し、相模女子大学グリーンホールや相模大野中央公園、相模大野図書館や相模原南メディカルセンター等へと続く歩行者動線の確保。
2. 店舗南側及び市営駐車場から公共施設につながるデッキの継続利用。
3. 後継施設については、まちのイメージを損なわない商業施設への利用を中心として取り組まれない。

以上